奈良文化財研究所

英文スタイル・マニュアル
基礎編

NABUNKEN

Style Manual for English Texts

General Conventions

英文スタイル・マニュアル
基礎編

本マニュアルは以下の体制で作成した。
執筆　　：Daniel Borengasser（京都国立博物館）、Rebekah Harmon（元東京国立博物館／現 WritingWise）、
Rachel Lam（九州国立博物館）、Mary Lewine（奈良国立博物館）、
Melissa M. Rinne（京都国立博物館）、Frank Witkam（東京国立博物館）、
Peter Yanase（奈良文化財研究所）
編集　　：Rebekah Harmon、Peter Yanase
校閲協力：Ng Hui Lin（九州国立博物館）
日本語訳：Rebekah Harmon、Peter Yanase
編集協力：村上蛍（奈良文化財研究所）、高田祐一（奈良文化財研究所）、
山岡泰子（奈良文化財研究所）
デザインおよびタイポグラフィー：大手久実（奈良文化財研究所）、Peter Yanase

目次

まえがき 5

1 参考文献 7

1.1 スタイル・マニュアル 7

1.2 辞書 7

2 ローマ字表記 7

2.1 日本語 7

2.2 中国語 10

2.3 韓国語 10

2.4 サンスクリット語 10

3 英文における他国語のイタリック体と大文字化 11

4 固有名詞と称号 11

4.1 人名 11

4.2 神仏など 12

4.3 社寺 13

4.4 地名 14

4.5 流派と家系 17

4.6 役職名と称号 18

5 文学作品 19

6 日付と時間 19

6.1 日付 19

6.2 時間 20

6.3 期間 21

6.4 時代区分 21

7　数字と単位 22

7.1　基本ルール 22

7.2　順序や順番を表す数字 23

7.3　単位と通貨 23

8　記号と句読点 24

8.1　英文中の日本語の文字 24

8.2　クオーテーション・マーク 24

8.3　丸括弧 25

9　リスト 25

9.1　番号付きリスト 25

9.2　箇条書きリスト 25

9.3　「or」と「and」の前のカンマ 25

9.4　「etc.」の使用 26

10　展示室内における各種見出し・タイトル 27

10.1　大文字化 27

10.2　句読点 27

付録：時代区分－西暦対応表 29

まえがき

本スタイル・マニュアルは、奈良文化財研究所（奈文研）で用いる英文テキストの作成に関するガイダンスを提供するものである。

ただし、奈文研と同じく国立文化財機構に所属している東京国立博物館（東博）、京都国立博物館（京博）、奈良国立博物館（奈良）と九州国立博物館（九博）の参考資料ともするべく、各セクションの末尾にそれぞれ施設の独自の翻訳例等についても一部を採録した。

本スタイル・マニュアルで述べているルールを適用する際には柔軟な対応が必要である。また、本書に書かれているルールは最新のベストプラクティスが反映されているとは限らない。したがって、英文テキストを作成する際、必ず英文担当者と相談すること。

1 参考文献

1.1 スタイル・マニュアル

本書に記載されていない項目については、『The Chicago Manual of Style』（以降『CMOS』）の最新版に従うこと。

1.2 辞書

専門用語以外の言葉の定義およびスペルについては、『Merriam-Webster.com Dictionary』（https://www.merriam-webster.com/）（以降『MWD』）を使用すること。

---

2 ローマ字表記

2.1 日本語

2.1.1 基本ルール

ローマ字表記方法は以下の表を参考にすること。

a （ア）	i （イ）	u （ウ）	e （エ）	o （オ）
ka （カ）	ki （キ）	ku （ク）	ke （ケ）	ko （コ）
sa （サ）	shi （シ）	su （ス）	se （セ）	so （ソ）
ta （タ） tsa （ツァ）	chi （チ） ti （ティ）	tsu （ツ） tu （トゥ）	te （テ） tse （ツェ）	to （ト） tso （ツォ）
na （ナ）	ni （ニ）	nu （ヌ）	ne （ネ）	no （ノ）
ha （ハ） fa （ファ）	hi （ヒ） fi （フィ）	fu （フ）	he （ヘ） fe （フェ）	ho （ホ） fo （フォ）
ma （マ）	mi （ミ）	mu （ム）	me （メ）	mo （モ）
ya （ヤ）		yu （ユ）		yo （ヨ）
ra （ラ）	ri （リ）	ru （ル）	re （レ）	ro （ロ）
wa （ワ）				

ga（ガ）	gi（ギ）	gu（グ）	ge（ゲ）	go（ゴ）
za（ザ）	ji（ジ）	zu（ズ）	ze（ゼ）	zo（ゾ）
da（ダ）	ji（ヂ） di（ディ）	du（ヅ） zu（ドゥ） dyu（デュ）	de（デ）	do（ド）
ba（バ）	bi（ビ）	bu（ブ）	be（ベ）	bo（ボ）
pa（パ）	pi（ピ）	pu（プ）	pe（ペ）	po（ポ）
kya（キャ）		kyu（キュ）		kyo（キョ）
sha（シャ）		shu（シュ）	she（シェ）	sho（ショ）
cha（チャ）		chu（チュ）	che（チェ）	cho（チョ）
nya（ニャ）		nyu（ニュ）		nyo（ニョ）
hya（ヒャ）		hyu（ヒュ） fyu（フュ）		hyo（ヒョ）
mya（ミャ）		myu（ミュ）		myo（ミョ）
rya（リャ）		ryu（リュ）		ryo（リョ）
gya（ギャ）		gyu（ギュ）		gyo（ギョ）
ja（ジャ）		ju（ジュ）	je（ジェ）	jo（ジョ）
bya（ビャ）		byu（ビュ）		byo（ビョ）
pya（ピャ）		pyu（ピュ）		pyo（ピョ）

上記の表は『研究社 新和英大辞典』第五版を元に作成されている。

「b」、「m」、と「p」の前には「m」ではなく「n」を使うこと。

新聞	○ *shinbun*	× *shimbun*
天平	○ Tenpyō	× Tempyō
天武	○ Tenmu	× Temmu

次の音節が「y」または母音で始まる場合、「n」の後にアポストロフィを使用すること。

万葉集	○ Man'yōshū	× Manyōshū
純一郎	○ Jun'ichirō	× Junichirō
善意	○ *zen'i*	× *zeni*

促音を表記するには、該当する子音の最初の文字を重ねて表記すること。長子音の「ch」には「tch」を使うことも可能。

毬杖	*gicchō*	または	*gitchō*
木簡	*mokkan*		
骨董品	*kottōhin*		
漆器	*shikki*		
実測図	*jissokuzu*		

形態素（意味をもつ最小言語単位）の境界を超えない範囲で、長音を形成する隣接する母音を示すにはマクロンを使用すること。ほとんどの場合、新しい漢字は新しい形態素の始まりに重なる。

新嘗祭	Nīnamesai
委員会	*iinkai*
鳳凰	Hōō
鳥居	*torii*
シーサー	*shīsā*
呉音	*goon*
灯篭	*tōrō*
ビール	*bīru*

九博
奈文研

長子音の「ch」に必ず「cch」を使うこと。

2.1.2 日本語由来の英単語

「bonsai」「rickshaw」「origami」「Bunraku」など、日本語由来の英単語は、日本語のローマ字表記ではなく、英訳として扱うこと。これらの英単語に関しては、『MWD』に見られるスペルや大文字表記に従い、イタリック体にはしないこと。『MWD』に複数の表記例がある場合は、解説文がついているエントリーの表記例を使用すること。『MWD』に掲載されているにも関わらず、その単語が想定読者になじみがないと判断された場合は、日本語をローマ字化して説明を加えるか、別の訳し方を検討すること。

頻出日本語由来の英単語（スペルと大文字表記は『MWD』による）

aikido, adzuki bean, anime, banzai, bento box, bonsai, Bunraku, Bushido, daikon, daimyo, dashi, dojo, enoki mushroom, emoji, fugu, fusuma, futon, geisha, geta, genro, ginkgo, Go, haiku, hara-kiri, hibachi, hiragana, ikebana, Imari, inro, judo, jujitsu, Kabuki, kakemono, kaki, kami, kami-kaze, kana, kanji, karaoke, karate, katakana, katana, kendo, kimono, koi, kombu, koto, makimono, manga, matcha, matsutake, medaka, miso, mochi, netsuke, ninja, Noh, nori, nunchaku, obi, origami, pachinko,

ramen, Romaji, sake, salaryman, samurai, sashimi, satori, senryu, seppuku, shamisen, shiatsu, shiitake, Shinto, shogun, shoji, sudoku, sukiyaki, sumi-e, sumo, surimi, sushi, tanka, tatami, tempura, teriyaki, tofu, tokonoma, torii, tsunami, typhoon, udon, ukiyo-e, umami, urushi, wakame, wasabi, yakuza, zaibatsu, Zen, zori

---

九博

「Kabuki」、「Bunraku」、「Romaji」、「Noh」は大文字化せず、「kabuki」、「bunraku」、「romaji」、「noh」と表記すること。

2.1.3 複数形

ローマ字化した日本語を複数形にしないこと。また日本語由来の英単語も原則複数形にしないこと。

○ Many geisha and samurai read *kusazōshi*.

× Many geishas and samurais read *kusazōshis*.

2.2 中国語

漢語拼音を声調符号なしで用いること。

2.3 韓国語

韓国政府によって推奨されている「国語のローマ字表記法」（文化観光部2000年式）を使用すること。

2.4 サンスクリット語

ダイアクリティカル・マーク付きの国際標準サンスクリット表記法（IAST）を使用すること。ローマ字化されたサンスクリット語は複数形にしないが、「deva」や「guru」など、『MWD』に掲載されているサンスクリット語由来の英単語は複数形にすること。

十羅刹女	○ the ten demonesses (Skt. rākṣasī)	× Ten Rākṣasīs
十二天	○ the twelve devas	× Twelve Deva

京博

釈迦如来と釈迦族の表記は、「ś」と「ṣ」を「sh」に変換し、ダイアクリティカル・マークを使用しないこと。

Shakyamuni, Shakya clan

九博

ダイアクリティカル・マークを使用しないこと。「ś」と「ṣ」を「sh」に変換すること。

---

3 英文における他国語のイタリック体と大文字化

英文における他国語（日本語、サンスクリット語など）の言葉は大文字化せず、イタリック体にすること。

tachi, kosode, makie, tantō, gigaku, bugaku, sugoroku, gicchō

言語に関わらず、固有名詞はイタリック体にせず、大文字化すること。

Reiwa, Ryukyu, Ainu, Shikoku, Kuroda Seiki, Heisei Chishinkan

宮内庁と連携する場合、表記は宮内庁の規定に従うこと。

京博

日本の伝統芸能の英語表記は固有名詞として扱うこと。つまりイタリック体にせず大文字化し、「Gigaku」、「Bugaku」、「Bunraku」、「Kyōgen」などと表記すること。

---

4 固有名詞と称号

4.1 人名

4.1.1 基本ルール

それぞれの言語のローマ字表記で名前を表記すること。日本人、中国人および韓国人の名前を「姓ー名」の順で表記すること。ハイフンが含まれるローマ字表記の場合、ハイフンに続く文字は大文字にしないこと。現代芸術家の場合、本人が使用している表記に従うこと。国際的に知られている現代著名人の場合、最も普及している表記を使うこと。姓は頭文字以外の文字を大文字にしないこと。

尾形光琳	Ogata Kōrin
南啓宇 (남계우)	Nam Gye-u
米芾	Mi Fu

九博

本人が特定の表記（「Adumi」、「Ohsaka」など）を指定する場合はそれに従うこと。

4.1.2 号と別名

文章を理解する上で不可欠な場合を除き、号や別名を省略し、本名のみ表記すること。訳文を作成する際、日本語の原文で号や別名のみが使われている場合でも、訳文では本名で表記すること。

狩野〈伊川院〉栄信（1775〜1828）筆	By Kanō Naganobu(1775–1828)
蘇東坡（1037〜1101）	○ Su Shi (1037–1101) × Su Dongpo

4.1.3 歴史・伝承上の人物

歴史・伝承上の人物は、その人物が生まれたとされている地域で使用されている名前にすること。日本のみで有名になり、かつ本名が不明な人物において、日本語の名前を使用すること。

秀文	Yi Su-mun
蝦蟇仙人	The Daoist Immortal Liu Haichan

専門書などでよく出てくる人名に関しては、もっとも普及している表記に従うこと。

狩野永徳	○ Kano Eitoku	× Kanō Eitoku
岩佐又兵衛	○ Iwasa Matabei	× Iwasa Matabē

東博
奈文研
九博

日本歴史・伝承上の人物の名前はすべて本マニュアルで説明されているローマ字表記に従うこと。

奈良博

作成する英文テキストの責任者にあたる研究員・学芸員から英文表記に関する指示がある場合、それに従うこと。

4.2 神仏など

グローバルな文脈で把握できるよう、神仏などの英語表記はその伝承・信仰の発祥地で使用されている名称にすること。

また、初出時には「the buddha Amitābha」や「the bodhisattva Avalokiteśvara」などのように説明を加えること。

東博

日本で作られた作品に登場する神仏などの名称については日本の名称を使用すること。ただし、釈迦如来は「Śākyamuni」と表記すること。スペースがある場合、括弧内にサンスクリット語の名称を併記すること。

奈良博

中国で作られた作品に登場する神仏などの名称については中国語の名称を使用すること。ただし、釈迦如来は「Śākyamuni」と表記する。括弧内にサンスクリット語の名称を併記すること。

4.3 社寺

原則として、施設の種別を示す用語（「神社」、「宮」、「寺」、「大社」など）をローマ字化せずに英訳に置き換えること。ローマ字化して残す場合、ハイフンは付けないこと。また、英訳を追加すること。「院」は必ずローマ字化して残すこと。「宮」を「ぐう」、「寺」を「じ」と発音する場合はローマ字化して残すこと。展覧会に協力する社寺から英語表記に関する指示がある場合、それに従うこと。

八幡宮	Hachimangū Shrine
熱田神社	Atsuta Shrine
出雲大社	Izumo Grand Shrine
東大寺	Tōdaiji Temple
清水寺	Kiyomizu Temple

京博

「宮」を「ぐう」と発音する場合でもローマ字化せず、英訳に置き換えること。「寺」を「でら」と発音する場合、ローマ字化して残すこと。「寺」をローマ字化する場合、ハイフンを使用すること。「大社」は「Shrine」と訳すこと。

八幡宮	Hachiman Shrine
熱田神社	Atsuta Shrine
出雲大社	Izumo Shrine
東大寺	Tōdai-ji Temple
清水寺	Kiyomizu-dera Temple

奈良博

すべての種別をハイフンをつけてローマ字化すること。「大社」は「Shrine」と訳すこと。また、作品名上の社寺名に関しては別のルールが存在する。

春日大社	Kasuga-taisha Shrine
若宮神社	Wakamiya-jinja Shrine
兵主大社	Hyōzu-taisha Shrine
八幡宮	Hachiman-gū Shrine

ただし

春日社寺曼荼羅	Mandala of Kasuga Shrine and Kōfukuji Temple

九博

常設展の場合、ローマ字化して残した種別にハイフンを使用すること。特別展と企画展の場合、「宮」を「ぐう」、または「寺」を「じ」と発音するときハイフンを使用せずにローマ字化すること。

	常設展	特別展／企画展
八幡宮	Hachiman-gū Shrine	Hachimangū Shrine
熱田神社	Atsuta Shrine	Atsuta Shrine
出雲大社	Izumo Grand Shrine	Izumo Grand Shrine
東大寺	Tōdai-ji Temple	Tōdaiji Temple
清水寺	Kiyomizu Temple	Kiyomizu Temple

奈文研

「寺」を「でら」を発音する場合、ローマ字化して残すこと。寺院は、種別の英訳を地図上の表記にのみ追記すること。地図上の表記の以外の場合、初出時には「the temple of Tōdaiji」のように説明を加えること。

	地図	地図以外
八幡宮	Hachimangū Shrine	Hachimangū Shrine
熱田神社	Atsuta Shrine	Atsuta Shrine
出雲大社	Izumo Grand Shrine	Izumo Grand Shrine
東大寺	Tōdaiji Temple	Tōdaiji
清水寺	Kiyomizudera Temple	Kiyomizudera

4.4 地名

4.4.1 日本の地名

4.4.1.a 基本ルール

『MWD』に掲載されている地名に関しては辞典の表記に従うこと。

九州	Kyushu
北海道	Hokkaido
新潟	Niigata
本州	Honshu
東京	Tokyo
大阪	Osaka
京都	Kyoto

東博

「Tokyo」、「Kyoto」、「Osaka」のみ、『MWD』に掲載されているスペルを用いること。

京博

県名、地域名、および主要な都市について、「Oita」、「Kanto」、「Koriyama」のように、マクロンを用いず表記すること。

4.4.1.b 自然地名

原則として地名の種別(「川」、「山」など)を表す部分をその英訳に置き換えること。ただし、種別が英語に置き換えられたことによって日本人が元の日本語の地名を認識することが困難であろうと思われる場合、種別の部分をローマ字化して、英訳をその後に追加すること。地名にその種別の表現がない場合は、その種別に該当する英語表現を追加すること。取るべき対処法が判断しにくい場合、国土地理院のフローチャートを参考すること。※

置き換え方式

多摩川	Tama River
富士山	Mount Fuji
東京湾	Tokyo Bay
那珂川	Naka River

追加方式

荒川	Arakawa River
霞ヶ浦	Lake Kasumigaura
中川	Nakagawa River
八重干瀬	Yabiji Coral Reef

※フローチャートについて「地名等の英語表記ルールの概要」、ルールの詳細について「地名等の英語表記規程」を参照。いずれも国土地理院のウェブサイト（https://www.gsi.go.jp/top.html）にて公開されている。

4.4.1.c 駅、建物、道路など

4.4.1.c.a 基本ルール

混乱を招かない限り、地方公共団体と土地・領地の区画の種別を表す言葉（「村」、「区」、など）をその英訳に置き換えること。「京都市」と「大阪市」以外の「市」で終わる地名について、「市」を「City」に置き換えること。置き換えた英訳の頭文字を大文字にすること。

埼玉県さいたま市	Saitama City, Saitama Prefecture
出雲国	Izumo Province
加賀藩	Kaga Domain

九博

「domain」は大文字化しないこと。

奈文研

「domain」は大文字化しないこと。原則として「市」、「町」、「村」を英訳せずに省略すること。

京博

「domain」、「prefecture」、「province」は大文字化しないこと。文章を理解する上で不可欠な場合を除き、「市」、「町」、「村」を英訳せずに省略すること。種別の表記が必要な場合、「the city of Kyoto」や「the village of Tsukigase」などのように、説明を加えた形で表現すること。

4.4.1.c.b 駅と建物名

混乱を避けるために、駅や建物の名称は公式、または、定着した英訳・ローマ字表記を使用すること。訪日外国人旅行者はバスの経路を調べる際にインターネットを利用する可能性が高いため、バス停の英文表記はバス会社のウェブサイト上での表記に従うこと。

法隆寺宝物館	The Gallery of Horyuji Treasures
東洋館	Asian Gallery (Toyokan)

4.4.1.c.c 道路

道路の名称については、訪日外国人旅行者が利用可能な地図アプリなどから参照すること。ただし、英文表記にマクロンをつけて使用すること。

4.4.2 日本以外の地名

日本以外の地名には現在使われている英語名称を使用すること。

北京	○ Beijing	× Peking
ブルターニュ	○ Brittany	× Bretagne

複数の英語表記が存在する場合、特別な指示がない限り、各名称をスラッシュで区切って表記すること。

渤海	Balhae/Bohai

4.5 流派と家系

4.5.1 基本ルール

原則として、「school」、「family」、「branch」など、一般に普及している訳語を使用すること。文章を理解する上で必要な場合、流派や家系についての説明を補足すること。

狩野派	the Kanō school (of painting)
木挽町狩野家	the Kobikichō branch of the Kanō school
楽家	the Raku family (of potters)

京博

定着したローマ字表記がある場合、それを用いること。

狩野派	the Kano school
木挽町狩野家	the Kobikichō branch of the Kano school

4.5.2 流派と家系の代々の当主

原則として、「代」を「generation」と訳さず、当主のことを英語で「head」と表現すること。

樂家第七代	the seventh head of the Raku family
木挽町狩野家第四代	the fourth head of the Kobikichō branch of the Kanō school

---

4.5.3 伝統芸能の役者・俳優の名称

歌舞伎などの伝統芸能の役者・俳優の代目を大文字のローマ数字で表記すること。

五代目　市川團十郎	Ichikawa Danjūrō V
七代目　片岡仁左衛門	Kataoka Nizaemon VII
初代　早川尚古斎	Hayakawa Shōkosai I

4.6 役職名と称号

4.6.1 基本ルール

人物の名称の一部として表記される場合、役職名などの頭文字を大文字にすること。役職名のみが文書に出てくる場合、または役職名が人物の説明になっている場合、頭文字を大文字化しないこと。

岸田総理	Prime Minister Kishida
西太后	Empress Dowager Cixi
博物館の館長	the executive director of the museum
清の皇帝	the Qing emperor
小泉純一郎・菅直人元首相	former prime ministers Koizumi Junichiro and Naoto Kan

---

4.6.2 皇族身位と称号

4.6.2.a 基本ルール

天皇・皇族の身位の英訳を以下の通りにすること。

王、皇子、親王	Prince
皇女、内親王、女王	Princess
皇后	Empress
天皇	Emperor/Reigning Empress

「後○○天皇」の場合、「後」と「○○」の部分をハイフンを付けてローマ字化し、それぞれの頭文字を大文字にすること。天皇が退位したことを、「retired」と表現すること。女性天皇を含める数人の過去の天皇を示す際は、総称として「sovereigns」を使うこと。

後桜町天皇	Reigning Empress Go-Sakuramachi
後白河院	retired Emperor Go-Shirakawa
光格上皇	retired Emperor Kōkaku

京博
奈文研

「retired」の頭文字を大文字で表記すること。「Reigning Empress」の代わりに、「Empress Regnant」を使用すること。

九博

「後○○天皇」の場合、「後」と「○○」の間にスペースを入れること。

4.6.2.b 宮内庁のルール

宮内庁と連携して英文を作成する際、天皇・皇族の身位と称号に関しては、大文字化を含めて、以下の通りに表記すること。

天皇陛下	His Majesty the Emperor (Naruhito) ２回目から: His Majesty
皇后陛下	Her Majesty the Empress (Masako) ２回目から: Her Majesty
天皇皇后両陛下	Their Majesties the Emperor and Empress
皇室	the Imperial Family
皇太子	(His Imperial Highness) the Crown Prince
上皇明仁	His Majesty Emperor Emeritus Akihito
上皇后美智子	Her Majesty Empress Emerita Michiko

---

5 文学作品

普及している翻訳版が存在する場合、翻訳版で使用されている題名、章の表題、および登場人物の表記・訳を使用すること。『源氏物語』に言及する際、Tyler訳版を参照すること。

東博

『源氏物語』に言及する際、Seidensticker翻版を参照すること。

京博

『源氏物語』に言及する際、Washburn翻版を参照すること。

---

6 日付と時間

6.1 日付

『CMOS』が推奨するアメリカ式の「月－日－年」の順番で日付を書くこと。月と日の間にカンマを入れないこと。月日と年の間にカンマを入れること。月と

年のみを表記する場合、カンマを入れないこと。原則として、曜日および年号を省略すること。ただし、曜日および年号が文章を理解する上で必要な場合は省略しないこと。また、曜日を入れる場合、曜日と月日の間にカンマを入れること。

1990年1月1日	January 1, 1990
2021年4月	April 2021
令和3年1月1日（金）	January 1, 2021
曜日を表記する場合	
2021年4月22日（木）	Thursday, April 22, 2021

旧暦の月を英語で表す場合、グレゴリオ暦の月を示す英単語（「January」、「February」等）を使用せず、数字で表記すること。

正応五年八月三日	○ third day of the eighth month of 1292 (Shōō 5) （年号を表記する場合） × August 3, 1292

「紀元前」と「紀元後」のそれぞれをピリオドなしの英語略語の「BCE」と「CE」で表記すること。

前10000年頃	ca. 10,000 BCE
662年	662 CE

九博

展覧会の開催時間などの博物館に関係する日付は「日－月－年」の順番でカンマを使用せず、「1 January 2021」のように表記すること。「頃」と表記する場合は「ca」ではなく「about」を使うこと。

東博

常設展において、「紀元前」と「紀元後」には、ピリオドなしの英語略語の「BC」と「AD」を使用すること。

6.2 時間

博物館の開館時間などには「a.m.」と「p.m.」を用いること。

8時	8:00 a.m.
17：00	5:00 p.m.

九博

コロンで区切った24時間表記を用いること。

6.3 期間

期間を表す際にはエヌダッシュ（–）を使用すること。期間の開始と終了における「a.m.」、「p.m.」、「BCE」と「CE」の記号が同じであれば、前出の方を省略すること。期間の開始と終了が同じ月であれば、後出の方を省略すること。期間の開始と終了が同じ年であれば、前出の方を省略すること。期間の英語表記における「millenium」（千年紀）、「century」（世紀）、および「decade」（10年代）は初出を省略すること。ただし、期間の開始が紀元前で、修了が紀元後の場合は省略しないこと。

令和3年（2021年）1月2日（土）〜1月31日（日）
January 2–31, 2021

2020年6月16日（火）〜2020年7月23日（木）
June 16–July 23, 2020

2019年12月19日（木）〜2020年1月15日（水）
December 19, 2019–January 15, 2020

前5世紀頃〜後3世紀頃
ca. 5th century BCE–3rd century CE

7世紀頃〜10世紀頃
ca. 7th–10th century CE

前6千年紀〜前2千年紀
6th–2nd millennium BCE

9：30〜17：00
9:30 a.m.–5:00 p.m.

13時半〜14時
1:30–2:00 p.m.

西暦である期間は、千、百、十の位の数字は省略すること。

1823〜80	1823–80
1861〜63	1861–3

奈良博　西暦である期間は一切省略しないこと。

6.4 時代区分

できるかぎり日本史時代区分を西暦の世紀に書き換えること。

奈良時代　○ eighth century　× Nara period

解説文などに日本史時代区分を使用する場合、初出時は必ず対応する西暦の範囲を括弧で併記すること。各機関で定められた時代区分ー西暦対応表は付録を参照すること。

京博

「seventeenth century」（17世紀）を1700年代と誤解されるように、「○○ century」がさす西暦の範囲は誤解されがちなので、できるかぎり「○○ century」表記と数字表記を混在して使うこと。

奈良博

展示室内の各種キャプションとパネルに西暦年を常に併記すること。

九博

解説文などに日本史時代区分を使用する場合、年代の境目の議論を避けるために、対応する西暦の範囲を世紀単位で表記すること。つまり、「Edo period（1603–1867/8）」ではなく、「Edo period（17th–19th century）」などと表記すること。

---

7 数字と単位

7.1 基本ルール

0から100までの整数をアルファベットで表記すること。200、5000、300000など、英語で読み上げるとき「hundred」、「thousand」、または「hundred thousand」でおわる整数はアルファベットで表記すること。9000000や7000000000などの、英語で読み上げると「million」、「billion」、または「trillion」でおわる整数は、「million」、「billion」と「trillion」をアルファベットで表記し、その以前の部分はアラビア文字で表記すること。日付の日はアルファベットで表記しないこと。テキストに複数の数字が出てくる場合、文章を読みやすくするために上記のルールに従わず、アラビア数字を使用することが可能。

78歳	seventy-eight years old
221か所	221 places
2億	200 million

数字が文の先頭に出る場合、数字をアルファベットで表記するか、文が数字で始まらないように書き直すこと。

○ The year 2025 marks the 150th anniversary of . . .
× 2025 is the 150th anniversary of . . .

年代表記を除き、4桁以上の数字にはカンマを使用すること。ただし、5桁以上の年代表記はカンマを用いること。

1200周年	1,200th Anniversary
1989年	1989
前22000年頃	22,000 BCE
前3200年頃	3200 BCE

京博

9000000や7000000000などの、英語で読み上げると「million」、「billion」、または「trillion」でおわる整数をアルファベットで表記すること。

7.2 順序や順番を表す数字

序数（「first」、「twelfth」、「120th」など）は原則アルファベットで表記すること。ただし、括弧の中で世紀を表記する場合はアラビア数字を使用すること。また、基本情報しか書いていない展示室内の題箋においては、必ずアラビア数字を使用すること。「th」、「nd」などは上付き文字にしないこと。

樂家第四代	the fourth head of the Raku family
7日目	the seventh day
15世紀	the fifteenth century

二つの世紀を英語で「and」を使って並べるとき、または数世紀にわたる期間を英語で「through」を使って表現する際、複数形の「centuries」を使うこと。二つの世紀を英語で「or」を使って並べるとき、または数世紀にわたる期間を英語で「to」を使って表現する際、単数形の「century」を使うこと。

12世紀および18世紀	in the twelfth and eighteenth centuries
8〜10世紀	in the eighth through tenth centuries ただし from the eighth to tenth century
16世紀または17世紀	in the sixteenth or seventeenth century
17世紀と18世紀の ファッション	seventeenth- and eighteenth-century fashions

東博

展示室内のすべてのキャプションにおいてアラビア数字を使用すること。

7.3 単位と通貨

日本特有の単位と通貨の名称を英文にローマ字化して使用すること。原則として括弧内に読者のなじみのある単位で近似値を併記すること。

1.5億円	150 million yen (approx. 1.4 million USD)
一尺	one *shaku* (approx. 29.7 cm or 11.7 in.)

メートル法の単位の場合ピリオドを用いないが、帝国単位の場合ピリオドを用いること。

12 in.　　1 ft.　　10 mm　　100 cm　　1 m

奈文研　文章を理解する上で不可欠な場合のみ、日本特有の単位と通貨をローマ字化して使用すること。

九博　日本特有の単位の全てをメートル法と帝国単位に換算して表記すること。帝国単位はメートル法の後で括弧で表記すること。

8　記号と句読点

8.1　英文中の日本語の文字

英文に日本語の２バイト文字の記号、句読点、と数字を使用せず、適切な英語の文字に置き換えるか省略すること。日本語の原文に強調のために隅付き括弧（【 】）が使用されている場合、訳文では括弧を省略すること。加えて、強調されている部分を太文字にするなどのフォントのスタイルでの工夫を施すことも可能。日本語では期間の表記に使われている波ダッシュ（〜）の代わりに、英語ではエンダッシュ（–）を使うこと。ローマ数字は日本語のローマ数字（「Ⅰ」、「Ⅱ」、「Ⅲ」など）ではなく、「I」、「II」、「III」、「i」、「ii」、「iii」などのように、アルファベットで数字を表すこと。

２バイト文字の例

、。：．…・‘／“）－ー＾１２３①②③ⅠⅡⅢ「」【】『』〜※■○◆

8.2　クオーテーション・マーク

句読点をクオーテーション・マークの内側に入れること。ただし、引用に含まれている句読点は原文の通りにすること。

The term *maki-e* literally means “sprinkled pictures.”

The Chinese word for “bat” (*fu*) is a homophone for the word meaning “good fortune.”

Meaning “foreign colors,” *falangcai* uses enamels derived from European cloisonné techniques.

8.3 丸括弧

起こしの括弧の前に必ずスペースを入れること。起こしの括弧の後にスペースを入れないこと。受けの括弧の前にスペースを入れないこと。句読点の前に出る場合を除き、受けの括弧の後に必ずスペースを入れること。

The museum held the same exhibition two years ago (see the website for more details).

Buddhists believe the bodhisattva Miroku (Skt. Maitreya) will be reborn in the distant future and save the world by preaching Buddhist teachings.

---

9 リスト

9.1 番号付きリスト

番号付きリストには、アラビア数字、ローマ数字、またはアルファベットを用いること。

1. 2. 3.　　1) 2) 3)　　a) b) c)　　I II III　　i ii iii

9.2 箇条書きリスト

箇条書きリストには、ビュレット（•）またはハイフンを用いること。星、ハートなどのイレギュラーな記号は子供向けのテキストの場合のみ使用可能。どの記号が使われていも、リスト全体に同じ記号を使用することが原則。ただし、入れ子のリストの場合、レベルの深さに応じて別の記号を使用することも可能。

同じ記号を使用する場合

Low-Pressure Mount

- Acrylic panel
- Backboard
  - pH-neutral honeycomb board

レベルに応じて別の記号を使用する場合

Low-Pressure Mount

- Acrylic panel
- Backboard
  - pH-neutral honeycomb board

9.3 「or」と「and」の前のカンマ

３つ以上のものを列挙する際、最後のものの前に来る「or」または「and」の前にカンマを挿入すること。（「or」と「and」の前にカンマを使わないという

考え方もあるが、特に博物館の解説文のような複数のモチーフや技法などが並ぶ長いリストは、「or」と「and」の前にカンマを入れることで曖昧さを避けることができる。）

Stacked Food Boxes with Camellias, a Crane, and a Tortoise

Porcelain, gold, glass, and jade were placed in the tombs of elite rulers.

The techniques are typical of the late sixteenth century, including a speckled “pear-skin” ground, designs in lacquer and gold that have been polished to a flat finish, and fine lines scratched into gold with a needle.

9.4 「etc.」の使用

文中に「etc.」を使用する場合、直前と直後にカンマとスペースを入れること。文の最後に来る場合、文末のピリオドは不要である。

Common floral motifs include peonies, chrysanthemums, camellias, etc.

Write the title of all relevant books, articles, presentations, etc., in the space provided.

日本語が「等」を使用するほど英語は「etc.」を使用しない。『シカゴ・マニュアル』で書かれているように、英語では「etc.」はフォーマルな文章には原則使用されていない。そのため、できるかぎり「etc.」を使わず、「such as」、「including」、や「like」などを使用するように文章を書き直すこと。

元の英文

Porcelain, gold, glass, jade, etc., were placed in the tombs of elite rulers.

書き直された英文

Valuable objects such as porcelain, gold, glass, and jade were placed in the tombs of elite rulers.

---

10 展示室内における各種見出し・タイトル

10.1 大文字化

『CMOS』が推奨するヘッドライン・スタイルに従い、最初と最後、その他主要な単語の頭文字を大文字にすること。社寺の種別を示す用語（「神社」、「宮」、「寺」、「大社」など）をハイフンを付けてローマ字化する場合、「Tōdai-ji Temple」のように、ハイフンに続く用語を大文字化しないこと。本のタイトル、ローマ字化された日本語など、普段イタリック体にされるものはタイトル・見出しでもイタリック体にすること。ただし、タイトル・見出し全体がイタリック体になっている場合は、本のタイトルなどを逆にイタリック体にしないこと。

沓形茶碗 銘 鶴太郎
Shoe-Shaped Tea Bowl, Named “Kakutarō (Crane Boy)”

大般若経（東大寺八幡宮経）
Great Perfection of Wisdom Sutra (Called the “Tōdaiji Temple Hachimangū Shrine Sutra”)

Artistic Representations of *The Tale of Genji*
または
Artistic Representations of The Tale of Genji

九博
奈文研

展覧会、芸術作品、本などのタイトル・見出しには『CMOS』が推奨するヘッドライン・スタイルに従うこと。展示品のキャプションが、「Shoe-shaped tea bowl」（沓形茶碗）のように、展示品の種別・解説になっている場合、最初の単語の頭文字だけ大文字にすること。

沓形茶碗 銘 鶴太郎
Shoe-shaped tea bowl, named “Kakutarō” (“Crane Boy”)

大般若経（東大寺八幡宮経）
Great Perfection of Wisdom Sutra

10.2 句読点

タイトル・見出しに含まれている要素（展覧会の種類、タイトル、サブタイトル、その他）が同一行に二つを並べる場合、コロンで区切ること。デザイン上コロンが好ましくない場合、代わりにエムダッシュ（—）も使用可能であるが、原則避けるべきである。要素が三つ並ぶ場合、一行に二つのコロンを使用することを避けるために片方をエムダッシュに置き換えることが可能。また、ホワイトスペースの調整、改行、フォントスタイルの変更などの手段をとることも可能。区切りのところで改行する場合、コロンとエムダッシュを削除すること。

鳥獣戯画展スピンオフ
Frolicking Animals: Behind the Scenes

特集展：鳥獣戯画展スピンオフ
Thematic Exhibition
Frolicking Animals: Behind the Scenes
または
Thematic Exhibition
FROLICKING ANIMALS
Behind the Scenes

第2章：出雲古代祭祀の源流
Chapter 2 Izumo: The Origin of Ancient Rituals
または
Chapter 2: Izumo—The Origin of Ancient Rituals

付録：時代区分－西暦対応表

奈良文化財研究所

旧石器時代	(Japanese) Paleolithic (ca. 35,500–14,000 BCE)
縄文時代	Jōmon period (ca. 14,000–800 BCE)
続縄文時代	Epi-Jōmon period (ca. 5th century BCE–7th century CE)
(沖縄)貝塚時代	Shellmound period (ca. 14,000 BCE–10th century CE)
弥生時代	Yayoi period (ca. 8th century BCE–3rd century CE)
古代	Classical Japan (ca. 6th–12 century)
古墳時代	Kofun period (ca. 3rd–6th century)
オホーツク文化期	Okhotsk period (ca. 5th–9th century)
飛鳥時代	Asuka period (592–710)
擦文時代	Satsumon period (ca. 7th–13th century)
奈良時代	Nara period (710–794)
平安時代	Heian period (794–1185)
トビニタイ文化期	Tobinitai period (ca. 10th–13th century)
グスク時代	Gusuku period (ca. 10th–15th century)
アイヌ文化期	Ainu period (ca. 13th–19th century)
中世	Feudal Japan (ca. 12th–16th century)
鎌倉時代	Kamakura period (1185–1333)
南北朝時代	Nanbokuchō period (1333–1392)
室町時代	Muromachi period (1392–1573)
戦国時代	Warring States period (ca. 15th–16th century)
琉球王朝	Ryūkyū Kingdom (ca. 15th–19th century)
安土桃山時代	Azuchi-Momoyama period (1573–1603)
近世	Early modern Japan (ca. 16th–19th century)
江戸時代	Edo period (1603–1868)
近代	Modern Japan (ca. 19th century–1945)
明治期	Meiji era (1868–1912)
大正期	Taishō era (1912–1926)
昭和期	Shōwa era (1926–1989)
平成期	Heisei era (1989–2019)
令和期	Reiwa era (2019–)

東京国立博物館

縄文時代	Jōmon period（ca. 11,000 BCE–5th century BCE）
弥生時代	Yayoi period（ca. 5th century BCE–3rd century CE）
古墳時代	Kofun period（ca. 3rd century–7th century）
飛鳥時代	Asuka period（593–710）
奈良時代	Nara period（710–794）
平安時代	Heian period（794–1192）
鎌倉時代	Kamakura period（1192–1333）
南北朝時代	Nanbokuchō period（1333–1392）
室町時代	Muromachi period（1392–1573）
安土桃山時代	Azuchi-Momoyama period（1573–1603）
江戸時代	Edo period（1603–1868）
明治期	Meiji era（1868–1912）
大正期	Taishō era（1912–1926）
昭和期	Shōwa era（1926–1989）
平成期	Heisei era（1989–2019）
令和期	Reiwa era（2019–）

京都国立博物館

縄文時代	Jōmon period（pre-10,000 BCE–ca. 5th century BCE）
弥生時代	Yayoi period（ca. 5th century BCE–ca. 3rd century CE）
古墳時代	Kofun period（ca. 3rd century–6th century）
飛鳥時代	Asuka period（592–710）
奈良時代	Nara period（710–794）
平安時代	Heian period（794–1185）
鎌倉時代	Kamakura period（1185–1333）
南北朝時代	Nanbokuchō period（1333–1392）
室町時代	Muromachi period（1392–1573）
桃山時代	Momoyama period（1573–1615）
江戸時代	Edo period（1615–1868）
明治期	Meiji period（1868–1912）
大正期	Taishō period（1912–1926）
昭和期	Shōwa period（1926–1989）
平成期	Heisei period（1989–2019）
令和期	Reiwa period（2019–）

奈良国立博物館

縄文時代	Jōmon period（pre-10,000–ca. 5th/3rd c. BCE）
弥生時代	Yayoi period（5th/3rd c. BCE–ca. 3rd c. CE）
古墳時代	Kofun period（ca. 3rd century–7th century）
飛鳥時代	Asuka period（592–710）
奈良時代	Nara period（710–794）
平安時代	Heian period（794–1185）
鎌倉時代	Kamakura period（1185–1333）
南北朝時代	Nanbokuchō period（1333–1392）
室町時代	Muromachi period（1392–1573）
安土桃山時代	Azuchi-Momoyama period（1573–1603）
江戸時代	Edo period（1603–1867）
明治期	Meiji era（1868–1912）
大正期	Taishō era（1912–1926）
昭和期	Shōwa era（1926–1989）
平成期	Heisei era（1989–2019）
令和期	Reiwa era（2019–）

Style Manual for English Texts

General Conventions

The manual was authored by the following staff members (in alphabetical order by family name, followed by affiliated institution): Daniel Borengasser (Kyoto National Museum), Rebekah Harmon (WritingWise, formerly Tokyo National Museum), Rachel Lam (Kyushu National Museum), Mary Lewine (Nara National Museum), Melissa M. Rinne (Kyoto National Museum), Frank Witkam (Tokyo National Museum), and Peter Yanase (Nara National Research Institute for Cultural Properties). Additional proofreading was done by Ng Hui Lin (Kyushu National Museum).

The manual was edited by Rebekah Harmon and Peter Yanase, who together also produced the Japanese translation with editorial assistance from Murakami Hotaru (Nara National Research Institute for Cultural Properties), Takata Yuichi (Nara National Research Institute for Cultural Properties), and Yamaoka Hiroko (Nara National Research Institute for Cultural Properties).

Design and typography were done by Ōte Kumi (Nara National Research Institute for Cultural Properties) and Peter Yanase.

Contents

Preface 37

1 Normative References 39

1.1 Style Guide 39

1.2 Dictionary 39

2 Romanization 39

2.1 Romanization of Japanese 39

2.2 Romanization of Chinese 42

2.3 Romanization of Korean 42

2.4 Romanization of Sanskrit 42

3 Italicization and Capitalization of Non-English Terms and Names 43

4 Names and Titles 43

4.1 Names of People 43

4.2 Names of Deities and Semi-Deified Beings 44

4.3 Names of Japanese Religious Institutions 45

4.4 Geographical Names 46

4.5 Schools and Lineages 49

4.6 Titles 50

5 Literary Works 51

6 Dates and Times 51

6.1 Dates 51

6.2 Times 52

6.3 Date Spans and Time Spans 53

6.4 Time Periods 53

7 Numbers and Units of Measurement 54

7.1 General Rules 54

7.2 Ordinals 55

7.3 Units of Measurement and Currency 55

8 Symbols and Punctuation 56

8.1 Japanese Characters in English Text 56

8.2 Quotation Marks 56

8.3 Parentheses 57

9 Lists 57

9.1 Ordered Lists 57

9.2 Unordered Lists 57

9.3 Series Comma 57

9.4 Use of “etc.” 58

10 Exhibition and Object Titles 59

10.1 Capitalization 59

10.2 Punctuation of Titles 59

Appendix: Established Time Periods 61

Preface

The Style Manual is primarily intended to provide guidance on producing English texts, prepared both internally and externally, for use in the Nara National Research Institute for Cultural Properties (NABUNKEN).

However, additional information has been added related to the practices of the Tokyo National Musem (TNM), Kyoto National Museum (KNM), Nara National Museum (NNM), and Kyushu National Museum (Kyuhaku), so it could also act as a reference document for these institutions.

Institutional styles evolve over time and can vary by case; the conventions listed here are guidelines, not rules, and are subject to change. Always consult the staff in charge of overseeing English texts to ensure your text fulfills NABUNKEN's quality requirements.

1 Normative References

1.1 Style Guide

Follow the latest edition of the *Chicago Manual of Style* (*CMOS*) for items not covered in this manual.

1.2 Dictionary

Use the online version of *Merriam-Webster.com Dictionary* (*MWD*) (*https://www.merriam-webster.com/*) for all spellings and non-technical definitions.

---

2 Romanization

2.1 Romanization of Japanese

2.1.1 *General Rules of Romanization*

Refer to the chart below for correct romanization.

a （ア）	i （イ）	u （ウ）	e （エ）	o （オ）
ka （カ）	ki （キ）	ku （ク）	ke （ケ）	ko （コ）
sa （サ）	shi （シ）	su （ス）	se （セ）	so （ソ）
ta （タ） tsa （ツァ）	chi （チ） ti （ティ）	tsu （ツ） tu （トゥ）	te （テ） tse （ツェ）	to （ト） tso （ツォ）
na （ナ）	ni （ニ）	nu （ヌ）	ne （ネ）	no （ノ）
ha （ハ） fa （ファ）	hi （ヒ） fi （フィ）	fu （フ）	he （ヘ） fe （フェ）	ho （ホ） fo （フォ）
ma （マ）	mi （ミ）	mu （ム）	me （メ）	mo （モ）
ya （ヤ）		yu （ユ）		yo （ヨ）
ra （ラ）	ri （リ）	ru （ル）	re （レ）	ro （ロ）
wa （ワ）				

ga（ガ）	gi（ギ）	gu（グ）	ge（ゲ）	go（ゴ）
za（ザ）	ji（ジ）	zu（ズ）	ze（ゼ）	zo（ゾ）
da（ダ）	ji（ヂ） di（ディ）	du（ヅ） zu（ドゥ） dyu（デュ）	de（デ）	do（ド）
ba（バ）	bi（ビ）	bu（ブ）	be（ベ）	bo（ボ）
pa（パ）	pi（ピ）	pu（プ）	pe（ペ）	po（ポ）
kya（キャ）		kyu（キュ）		kyo（キョ）
sha（シャ）		shu（シュ）	she（シェ）	sho（ショ）
cha（チャ）		chu（チュ）	che（チェ）	cho（チョ）
nya（ニャ）		nyu（ニュ）		nyo（ニョ）
hya（ヒャ）		hyu（ヒュ） fyu（フュ）		hyo（ヒョ）
mya（ミャ）		myu（ミュ）		myo（ミョ）
rya（リャ）		ryu（リュ）		ryo（リョ）
gya（ギャ）		gyu（ギュ）		gyo（ギョ）
ja（ジャ）		ju（ジュ）	je（ジェ）	jo（ジョ）
bya（ビャ）		byu（ビュ）		byo（ビョ）
pya（ピャ）		pyu（ピュ）		pyo（ピョ）

The chart is adapted from *Kenkyusha's New Japanese-English Dictionary* (5th ed.)

Use "n" *not* "m" before a "b," "m," or "p."

新聞	*shinbun*	*not*	*shimbun*
天平	Tenpyō	*not*	Tempyō
天武	Tenmu	*not*	Temmu

Use an apostrophe after an "n" when the following syllable starts with a "y" or a vowel.

万葉集	Man'yōshū	*not*	Manyōshū
純一郎	Jun'ichirō	*not*	Junichirō
善意	*zen'i*	*not*	*zeni*

To mark a geminate consonant, double the first character of the relevant consonant. For geminate “ch,” you can also use “tch.”

毬杖	*gicchō*	*or*	*gitchō*
木簡	*mokkan*		
骨董品	*kottōhin*		
漆器	*shikki*		
実測図	*jissokuzu*		

Use macrons to indicate adjacent vowels forming a long sound that do not extend beyond morpheme boundaries. As a rule of thumb, a new Chinese character usually overlaps with the start of a new morpheme.

新嘗祭	Nīnamesai
委員会	*iinkai*
鳳凰	Hōō
鳥居	*torii*
シーサー	*shīsā*
呉音	*goon*
灯篭	*tōrō*
ビール	*bīru*

Kyuhaku, NABUNKEN

For geminate “ch,” always use “cch.”

2.1.2 *English Words of Japanese Origin*

Many Japanese words, such as “bonsai,” “rickshaw,” “origami,” or “Bunraku” have entered the English language. Treat these as English translations, not romanizations, of the relevant Japanese words. Follow the spelling and capitalization seen in the *MWD* and do *not* italicize. When multiple variants are listed in the *MWD*, follow the entry with the definition of the word. Consider whether the readership would be familiar with the anglicized term, if not, consider romanizing and explaining the Japanese term or using an alternative translation.

Frequently appearing English words of Japanese origin:

aikido, adzuki bean, anime, banzai, bento box, bonsai, Bunraku, Bushido, daikon, daimyo, dashi, dojo, enoki mushroom, emoji, fugu, fusuma, futon, geisha, geta, genro, ginkgo, Go, haiku, harakiri, hibachi, hiragana, ikebana, Imari, inro, judo, jujitsu, Kabuki,

kakemono, kaki, kami, kamikaze, kana, kanji, karaoke, karate, katakana, katana, kendo, kimono, koi, kombu, koto, makimono, manga, matcha, matsutake, medaka, miso, mochi, netsuke, ninja, Noh, nori, nunchaku, obi, origami, pachinko, ramen, Romaji, sake, salaryman, samurai, sashimi, satori, senryu, seppuku, shamisen, shiatsu, shiitake, Shinto, shogun, shoji, sudoku, sukiyaki, sumi-e, sumo, surimi, sushi, tanka, tatami, tempura, teriyaki, tofu, tokonoma, torii, tsunami, typhoon, udon, ukiyo-e, umami, urushi, wakame, wasabi, yakuza, zaibatsu, Zen, zori

Kyuhaku

Do *not* capitalize "Kabuki," "Bunraku," "Romaji," and "Noh," i.e., write "kabuki," "bunraku," "romaji," and "noh."

2.1.3 *Pluralization*

Never pluralize romanized Japanese words. As a general rule, do not pluralize English words of Japanese origin.

Many geisha and samurai read *kusazōshi*.	not	Many geishas and samurais read *kusazōshis*.

2.2 Romanization of Chinese

Use Hanyu Pinyin *without* diacritics.

2.3 Romanization of Korean

Use the Revised romanization of Korean system, as adopted by the South Korean government.

2.4 Romanization of Sanskrit

Use the International Alphabet of Sanskrit Transliteration *with* diacritics. Do not pluralize transliterated Sanskrit terms but pluralize English words of Sanskrit origin that appear in the *MWD*, such as "deva" or "guru."

十羅刹女	the ten demonesses (Skt. rākṣasī)	*not*	Ten Rākṣasīs
十二天	the twelve devas	*not*	Twelve Deva

KNM

For the Historical Buddha and his family, do not use diacritics and convert “ś” and “ṣ” to “sh.”

Shakyamuni, Shakya clan

Kyuhaku

Do not use diacritics and convert “ś” and “ṣ” to “sh.”

---

3 Italicization and Capitalization of Non-English Terms and Names

Italicize but do *not* capitalize Japanese or any other non-English terms.

tachi, kosode, makie, tantō, gigaku, bugaku, sugoroku, gicchō

Capitalize but do *not* italicize proper names.

Reiwa, Ryukyu, Ainu, Shikoku, Kuroda Seiki, Heisei Chishinkan

When working with the Imperial Household Agency, follow its rules of capitalization and italicization of Japanese terms.

KNM

Treat major Japanese theatrical forms as proper nouns (capitalize but do *not* italicize), i.e., write “Gigaku,” “Bugaku,” “Bunraku,” and “Kyōgen.”

---

4 Names and Titles

4.1 Names of People

4.1.1 *General Rules*

Romanize names according to the rules of the given language. For Japanese, Chinese, and Korean names, the family name should precede the given name. In hyphenated names, only capitalize the first letter. For contemporary artists use their established preferred spellings. For contemporary public figures who have established identities outside of their country of origin, use the established alternate spellings. Do not write surnames in uppercase.

尾形光琳	Ogata Kōrin
南啓宇 (남계우)	Nam Gye-u
米芾	Mi Fu

Kyuhaku If a person specified a preferred romanization, e.g., “Adumi” rather than “Azumi,” or “Ohsaka” rather than “Ōsaka,” follow that.

4.1.2 *Art Names and Pseudonyms*

Omit art names and pseudonyms unless the pseudonym is integral to understanding some portion of the text. When a pseudonym is used in the original Japanese text to refer to a figure, replace it with the figure’s historical name in the translation.

狩野〈伊川院〉栄信（1775～1828）筆	By Kanō Naganobu (1775–1828)
蘇東坡（1037～1101）	Su Shi (1037–1101) *not* Su Dongpo

4.1.3 *Names of Historical and Semi-Legendary Figures*

Identify historical and semi-legendary figures by the name they are known by in their country of origin. The Japanese name may be used when the figure only achieved renown in Japan and their name in their country of origin is unclear.

秀文	Yi Su-mun
蝦蟇仙人	The Daoist Immortal Liu Haichan

Spelling should follow current scholarly usage, when available.

狩野永徳	Kano Eitoku	*not*	Kanō Eitoku
岩佐又兵衛	Iwasa Matabei	*not*	Iwasa Matabē

TNM, NABUNKEN, Kyuhaku Follow the General Rules of Romanization for all Japanese historical and semi-legendary figures.

NNM Where known, adhere to the preference of the individual curator or scholar responsible for the English text.

4.2 Names of Deities and Semi-Deified Beings

Identify deities and semi-deified beings by the names used in the regions where they originate from to put them into a global context.

Add descriptors at first mention, e.g., “the buddha Amitābha,” “the bodhisattva Avalokiteśvara.”

TNM

For Buddhist imagery created in Japan, identify deities and semi-deified beings by their Japanese name, excluding Śākyamuni. If space permits, add the Sanskrit name in parentheses.

NNM

For Buddhist imagery created in China, identify deities and semi-deified beings by their Chinese name, excluding Śākyamuni. Add the Sanskrit name in parentheses.

4.3 Names of Japanese Religious Institutions

As a general rule, replace the suffixes indicating the type of institution with the appropriate translation. When retaining the suffixes, do *not* hyphenate them and add the relevant English translation. Always retain “*ji*,” “*gū*,” and “*in*.” If a religious institution indicates a specific preference when lending a work of art or sponsoring an exhibition, follow that.

八幡宮	Hachimangū Shrine
熱田神社	Atsuta Shrine
出雲大社	Izumo Grand Shrine
東大寺	Tōdaiji Temple
清水寺	Kiyomizu Temple

KNM

Do not retain “*gū*.” Always retain “*dera*.” Hyphenate “*ji*” and “*dera*.” Use “Shrine” instead of “Grand Shrine.”

八幡宮	Hachiman Shrine
熱田神社	Atsuta Shrine
出雲大社	Izumo Shrine
東大寺	Tōdai-ji Temple
清水寺	Kiyomizu-dera Temple

NNM

Retain all suffixes and hyphenate them. Use “Shrine” instead of “Grand Shrine.” Names of religious institutions appearing in the titles of works follow altogether different rules.

春日大社	Kasuga-taisha Shrine
若宮神社	Wakamiya-jinja Shrine
兵主大社	Hyōzu-taisha Shrine
八幡宮	Hachiman-gū Shrine

but

春日社寺曼荼羅	Mandala of Kasuga Shrine and Kōfukuji Temple

Kyuhaku

For text prepared for the permanent exhibition, hyphenate all retained suffixes. For text for feature and special exhibitions, do not hyphenate "*gū*" and "*ji*."

	Permanent exhibition:	*Feature/special exhibition*:
八幡宮	Hachiman-gū Shrine	Hachimangū Shrine
熱田神社	Atsuta Shrine	Atsuta Shrine
出雲大社	Izumo Grand Shrine	Izumo Grand Shrine
東大寺	Tōdai-ji Temple	Tōdaiji Temple
清水寺	Kiyomizu Temple	Kiyomizu Temple

NABUNKEN

Always retain "*dera*." For Buddhist institutions, only add the relevant English noun on maps. In running text, add an explanatory phrase, such as "the temple of," on first mention.

	On maps:	*In running text*:
八幡宮	Hachimangū Shrine	Hachimangū Shrine
熱田神社	Atsuta Shrine	Atsuta Shrine
出雲大社	Izumo Grand Shrine	Izumo Grand Shrine
東大寺	Tōdaiji Temple	Tōdaiji
清水寺	Kiyomizudera Temple	Kiyomizudera

4.4 Geographical Names

4.4.1 *Japanese Geographical Names*

4.4.1.a *General Rules*

For geographical names that appear in the *MWD*, follow the given spelling.

九州	Kyushu
北海道	Hokkaido
新潟	Niigata

本州	Honshu
東京	Tokyo
大阪	Osaka
京都	Kyoto

TNM Only follow the spelling suggested in the *MWD* for “Tokyo,” “Kyoto,” and “Osaka.”

KNM Omit macrons from the names of prefectures, regions, or major cities, i.e., write “Oita,” “Kanto,” “Koriyama.”

4.4.1.b *Topographical Names*

Replace suffixes indicating topographical features with their English equivalents whenever possible. However, in accordance with the policies of the Geospatial Information Authority of Japan, if a Japanese person would have difficulty recognizing a place name without the topographical feature’s suffix in Japanese, add the English term to the end of the full name after the romanized Japanese. Also retain the original Japanese place name and add an English term if the original name does not indicate the type of topographical feature described. Follow the flow-chart provided by GSI when in doubt.[1]

Replace:

多摩川	Tama River
富士山	Mount Fuji
東京湾	Tokyo Bay
那珂川	Naka River

Add:

荒川	Arakawa River
霞ヶ浦	Lake Kasumigaura
中川	Nakagawa River
八重干瀬	Yabiji Coral Reef

[1] See *Chimei tō no eigo hyōki rūru no gaiyō* for the chart and *Chimei tō no eigo hyōki kitei* for a detailed explanation, both available at the website of GSI (*https://www.gsi.go.jp/top.html*).

4.4.1.c *Names of Places*

4.4.1.c.a *General Rules*

Replace words indicating region, district, or governance status with their English equivalents, unless it would lead to confusion. Replace "*shi*" with "City" for all cases except Kyoto and Osaka. Capitalize all elements.

埼玉県さいたま市	Saitama City, Saitama Prefecture
出雲国	Izumo Province
加賀藩	Kaga Domain

Kyuhaku

Do not capitalize "domain."

NABUNKEN

Do not capitalize "domain." Do not add "Village," "Town," and "City."

KNM

Do not capitalize "domain," "prefecture," or "province." Do not add "Village," "Town," and "City" unless necessary for understanding (and then, when possible, use "the city of Kyoto," "the village of Tsukigase").

4.4.1.c.b *Stations and Buildings*

Use the official/established English translation/romanization to avoid confusion. When the local bus stop is written differently from how it is written on the website of the bus line, use the one from the website as tourists will most likely use the internet to find their way around Japan.

法隆寺宝物館	The Gallery of Horyuji Treasures
東洋館	Asian Gallery (Toyokan)

4.4.1.c.c *Roads and Highways*

For names of roads and highways refer to available online maps but add macrons to the romanized part of the names.

4.4.2 *Non-Japanese Geographical Names*

Use the standard modern English term and spelling for city and

region names.

北京	Beijing	*not*	Peking
ブルターニュ	Brittany	*not*	Bretagne

Refer to regions with multiple possible readings in standard English using all possible readings separated by slashes, unless specifically told not to do so.

渤海	Balhae/Bohai

4.5 Schools and Lineages

4.5.1 *General Rules*

Use established terms whenever possible. When relevant, include information about what the school or lineage specializes in.

狩野派	the Kanō school (of painting)
木挽町狩野家	the Kobikichō branch of the Kanō school
楽家	the Raku family (of potters)

KNM Follow established romanization, when available.

狩野派	the Kano school
木挽町狩野家	the Kobikichō branch of the Kano school

4.5.2 *Generational Heads*

Omit the term “generation” when describing generational heads of schools and lineages whenever possible.

樂家第七代	the seventh head of the Raku family
木挽町狩野家第四代	the fourth head of the Kobikichō branch of the Kanō school

---

4.5.3 *Actors, Artists*

For actors and artists, use uppercased roman numerals to indicate their generation in a lineage.

五代目	市川團十郎	Ichikawa Danjūrō V
七代目	片岡仁左衛門	Kataoka Nizaemon VII
初代	早川尚古斎	Hayakawa Shōkosai I

4.6 Titles

4.6.1 *General Rules*

Capitalize a title when it is used as part of a person's name. Do not capitalize titles that appear on their own or when a title appears in front of a name as an appositive.

岸田総理	Prime Minister Kishida
西太后	Empress Dowager Cixi
博物館の館長	the executive director of the museum
清の皇帝	the Qing emperor
小泉純一郎・菅直人元首相	former prime ministers Koizumi Junichiro and Naoto Kan

---

4.6.2 *Japanese Imperial Titles*

4.6.2.a *General Rules*

Use the following translations for the various imperial titles:

王、皇子、親王	Prince
皇女、内親王、女王	Princess
皇后	Empress
天皇	Emperor/Reigning Empress

Use hyphens in emperors' names that include the prefix "*go*" (as in "later") and capitalize both elements. For abdicated emperors, use the term "retired." When referring to several past *tennō* that includes reigning empresses as well, refer to them collectively as "sovereigns."

後桜町天皇	Reigning Empress Go-Sakuramachi
後白河院	retired Emperor Go-Shirakawa
光格上皇	retired Emperor Kōkaku

KNM, NABUNKEN	Capitalize “retired.” Use “Empress Regnant” over “Reigning Empress.
Kyuhaku	Do not use hyphens in emperors’ names that include the prefix “*go*,” but write the elements separately.

4.6.2.b *Rules of the Imperial Household Agency*

Use the following capitalization style and terminology for imperial family members when translating texts in collaboration with the Imperial Household Agency, including capitalizing pronouns regardless of where they appear in the text.

天皇陛下	His Majesty the Emperor (Naruhito) *on second appearance*: His Majesty
皇后陛下	Her Majesty the Empress (Masako) *on second appearance*: Her Majesty
天皇皇后両陛下	Their Majesties the Emperor and Empress
皇室	the Imperial Family
皇太子	(His Imperial Highness) the Crown Prince
上皇明仁	His Majesty Emperor Emeritus Akihito
上皇后美智子	Her Majesty Empress Emerita Michiko

5 Literary Works

Use established English translations for titles of literary works, chapter titles within works, and names of characters when published translations exist. Use the Tyler translation for *The Tale of Genji*.

TNM	Use the Seidensticker translation for *The Tale of Genji*.
KNM	Use the Washburn translation for *The Tale of Genji*.

6 Dates and Times

6.1 Dates

Follow the American standard month-day-year style specified in

CMOS for writing dates. Separate the day of the week, the date, and the year with a comma, but do not separate the month and the day or the month and the year. Do not include days of the week or era names, unless they are contextually important or further understanding of the subject at hand.

1990年1月1日	January 1, 1990
2021年4月	April 2021
令和3年1月1日（金）	January 1, 2021

If including the day:

2021年4月22日（木）	Thursday, April 22, 2021

Do *not* use Gregorian calendar months to describe lunar calendar months, i.e., for dates prior to 1873.

正応五年八月三日	third day of the eighth month of 1292 (Shōō 5) (*Era name is optional.*)
	not
	August 3, 1292

Use “BCE” and “CE” abbreviated without periods to indicate dates before and after year one according to the Gregorian calendar.

前10000年頃	ca. 10,000 BCE
662年	662 CE

Kyuhaku For museum dates, write in the day-month-year style (1 January 2021) to avoid extra commas. For approximate dates, use “about” instead of “ca.”

TNM For regular exhibitions, use “BC” and “AD.”

6.2 Times

Use a.m./p.m. notation for museum times.

8時	8:00 a.m.
17：00	5:00 p.m.

Kyuhaku Use 24-hour notation with a colon.

6.3 Date Spans and Time Spans

Use an en dash (–) to indicate date and time spans. Do not repeat month, year, a.m./p.m., and BCE/CE designation when the specified dates and times fall under the same category. Do not repeat words referring to time spans, such as “millennium,” “century,” or “decade,” unless one is BCE while the other is CE.

令和3年（2021年）1月2日（土）～1月31日（日）
January 2–31, 2021

2020年6月16日（火）～2020年7月23日（木）
June 16–July 23, 2020

2019年12月19日（木）～2020年1月15日（水）
December 19, 2019–January 15, 2020

前5世紀頃～後3世紀頃
ca. 5th century BCE–3rd century CE

7世紀頃～10世紀頃
ca. 7th–10th century CE

前6千年紀～前2千年紀
6th–2nd millennium BCE

9：30～17：00
9:30 a.m.–5:00 p.m.

13時半～14時
1:30–2:00 p.m.

Do not repeat numbers indicating centuries and decades when a span of years falls within the same century or decade.

1823～80	1823–80
1861～63	1861–3

NNM Do not abbreviate decades and centuries in year spans.

6.4 Time Periods

Whenever context allows, replace names of Japanese time periods with the appropriate centuries to facilitate understanding.

奈良時代	eighth century	*not*	Nara period

If using Japanese time periods in running text, always include the year span in parentheses on the first instance. See the Appendix for established year spans for institutions where available.

KNM

Because of the confusing nature of century dates, i.e., thinking seventeenth century means the 1700s, consider interspersing numeric century dates with spelled out ordinal century dates when feasible.

NNM

For the wall text of an exhibition and object labels, offer the dates anew each time.

Kyuhaku

When period names are unavoidable, use centuries to define rather than years to avoid debated time spans, e.g., for the Edo period use “17th–19th century” rather than “1603–1867/8.”

7 Numbers and Units of Measurement

7.1 General Rules

Spell out whole numbers from zero through one hundred. Spell out whole numbers followed by “hundred,” “thousand,” and “hundred thousand.” Use numerals for whole numbers followed by “million,” “billion,” and so forth. Do not spell out dates. For ease of reading, it is acceptable to use numerals for any number when multiple numbers appear in a single text (refer to the *CMOS* for details).

78歳	seventy-eight years old
221か所	221 places
2億	200 million

Always spell out numbers that appear at the beginning of a sentence or recast the sentence to avoid starting with a number.

The year 2025 marks the 150th anniversary of . . .
not
2025 is the 150th anniversary of . . .

Use commas in numerals with four or more digits, including ordinal numbers, but excluding years. However, use commas in years of five digits or more.

1200周年	1,200th Anniversary
1989年	1989
前22000年頃	22,000 BCE
前3200年頃	3200 BCE

KNM Spell out whole numbers followed by “million,” “billion,” and so forth.

7.2 Ordinals

Spell out ordinals, excluding centuries in tombstone details, or centuries in parentheses. Do not use superscripts.

樂家第四代	the fourth head of the Raku family
7日目	the seventh day
15世紀	the fifteenth century

Use the plural form when denoting more than one century with ordinals combined with the term “and,” and when denoting a span of centuries with the term “through.” However, use the singular form for ranges expressed with “to,” alternatives expressed with “or,” and in compound modifiers.

12世紀および18世紀	in the twelfth and eighteenth centuries
8〜10世紀	in the eighth through tenth centuries *but* from the eighth to tenth century
16世紀または17世紀	in the sixteenth or seventeenth century
17世紀と18世紀の ファッション	seventeenth- and eighteenth-century fashions

TNM For museum labels, use numerals when denoting ordinals for centuries.

7.3 Units of Measurement and Currency

Follow the units of measurement and currency used in the Japanese text but add a reference in parentheses with an approximation of a more familiar unit or currency when reasonable.

1.5億円	150 million yen (approx. 1.4 million USD)
一尺	one *shaku* (approx. 29.7 cm or 11.7 in.)

Do *not* use periods for metric abbreviations but *do* use periods for imperial abbreviations.

12 in. 1 ft. 10 mm 100 cm 1 m

NABUNKEN Do *not* include the original measurement or currency unless the inclusion is contextually justified.

Kyuhaku With the exception of currency, convert all Japanese measurements into metric system units, and bracket imperial system measurements.

8 Symbols and Punctuation

8.1 Japanese Characters in English Text

Do *not* use Japanese double-byte characters for symbols, punctuation, or numerals in English text. Either replace or omit as appropriate. When lenticular brackets (【】) are used for emphasis in the Japanese text, omit them in the English version and consider changing the font style for the emphasized words. In time spans, replace the wave dash (〜) with an en dash (–). Use letters to represent Roman numerals and do not use the Roman numerals from the Japanese character set, i.e., use “I,” “II,” “III,” or “i,” “ii,” “iii,” and do *not* use “Ⅰ,” “Ⅱ,” “Ⅲ.”

Examples of Japanese double-byte characters:

、。：．…・‘／“）－—＾１２３①②③ⅠⅡⅢ「」【】『』〜※■○◆

8.2 Quotation Marks

Place punctuation inside quotation marks, excluding cases where the punctuation is part of a verbatim quote.

The term *maki-e* literally means “sprinkled pictures.”

The Chinese word for “bat” (*fu*) is a homophone for the word meaning “good fortune.”

Meaning “foreign colors,” *falangcai* uses enamels derived from European cloisonné techniques.

8.3 Parentheses

Always precede opening parentheses with a space. Do not follow opening parentheses with a space. Do not precede closing parentheses with a space. Always follow closing parentheses with a space, excluding cases where the next character is punctuation.

The museum held the same exhibition two years ago (see the website for more details).

Buddhists believe the bodhisattva Miroku (Skt. Maitreya) will be reborn in the distant future and save the world by preaching Buddhist teachings.

---

9 Lists

9.1 Ordered Lists

Use numerals or alphabet characters for ordered lists.

1. 2. 3. 1) 2) 3) a) b) c) I II III i ii iii

9.2 Unordered Lists

Use bullet points or hyphens for unordered lists. Stars, hearts, or other unorthodox shapes should be limited to publications aimed at children. In either case, consistent use of the same symbol is preferred. However, if a list is nested within another list, a change in symbol may be a useful visual cue to the reader.

Both of these are right:

Low-Pressure Mount

- Acrylic panel
- Backboard
  - pH-neutral honeycomb board

Low-Pressure Mount

- Acrylic panel
- Backboard
  - pH-neutral honeycomb board

9.3 Series Comma

Use the series comma (Oxford comma) when listing three or more items. The Oxford comma is falling out of favor in certain circles,

but museum texts often include lengthy lists of motifs or techniques, and the Oxford comma removes any ambiguity that might be created by not using it.

Stacked Food Boxes with Camellias, a Crane, and a Tortoise

Porcelain, gold, glass, and jade were placed in the tombs of elite rulers.

The techniques are typical of the late sixteenth century, including a speckled "pear-skin" ground, designs in lacquer and gold that have been polished to a flat finish, and fine lines scratched into gold with a needle.

9.4 Use of "etc."

When using "etc." in a list in running text, precede and follow it with a comma. If it comes at the end of a sentence, a second period is not needed.

Common floral motifs include peonies, chrysanthemums, camellias, etc.

Write the title of all relevant books, articles, presentations, etc., in the space provided.

Japanese texts use the term *tō*/*nado* much more often than the term "etc." is used in English. As noted in the *CMOS*, the term "etc." is not typically used in formal writing in English. When possible, recast the sentence as a list of examples to avoid using the term "etc." The terms "such as," "including," and "like" can often be used to achieve a similarly open-ended meaning.

Original:

Porcelain, gold, glass, jade, etc., were placed in the tombs of elite rulers.

Recast:

Valuable objects such as porcelain, gold, glass, and jade were placed in the tombs of elite rulers.

---

10 Exhibition and Object Titles

10.1 Capitalization

Follow the *CMOS* headline style. For Japanese religious institutions, *if* your institution hyphenates suffixes indicating the type of religious institution within the name, do not capitalize the suffix, i.e., write "Tōdai-ji Temple" *not* "Tōdai-Ji Temple." Italicize any word that would be italicized in running text. If the whole title is italicized, use roman type for words that would be italicized in running text.

沓形茶碗 銘 鶴太郎
Shoe-Shaped Tea Bowl, Named "Kakutarō (Crane Boy)"

大般若経（東大寺八幡宮経）
Great Perfection of Wisdom Sutra (Called the "Tōdaiji Temple Hachiman-gū Shrine Sutra")

Artistic Representations of *The Tale of Genji*
or
Artistic Representations of The Tale of Genji

Kyuhaku, NABUNKEN

Follow the *CMOS* headline-style capitalization for titles of exhibitions, artworks, books, etc., but use sentence-style capitalization for descriptive object names.

沓形茶碗 銘 鶴太郎
Shoe-shaped tea bowl, named "Kakutarō" ("Crane Boy")

大般若経（東大寺八幡宮経）
Great Perfection of Wisdom Sutra

10.2 Punctuation of Titles

Use a colon to separate multipart titles written on the same line. An em dash (—) may be used in place of a colon when aesthetically preferable, but should be avoided as a general rule. When modifiers are displayed on the same line as the title, an em dash is permitted to avoid using two colons in one line. Also consider changing the spacing, font, or line, for a more readable arrangement. Do *not* use colons or em dashes if you change the line.

鳥獣戯画展スピンオフ
Frolicking Animals: Behind the Scenes

特集展：鳥獣戯画展スピンオフ
Thematic Exhibition
Frolicking Animals: Behind the Scenes
or
Thematic Exhibition
FROLICKING ANIMALS
Behind the Scenes

第2章：出雲古代祭祀の源流
Chapter 2 Izumo: The Origin of Ancient Rituals
or
Chapter 2: Izumo—The Origin of Ancient Rituals

Appendix: Established Time Periods

Nara National Research Institute for Cultural Properties

旧石器時代	(Japanese) Paleolithic (ca. 35,500–14,000 BCE)
縄文時代	Jōmon period (ca. 14,000–800 BCE)
続縄文時代	Epi-Jōmon period (ca. 5th century BCE–7th century CE)
(沖縄) 貝塚時代	Shellmound period (ca. 14,000 BCE–10th century CE)
弥生時代	Yayoi period (ca. 8th century BCE–3rd century CE)
古代	Classical Japan (ca. 6th–12 century)
古墳時代	Kofun period (ca. 3rd–6th century)
オホーツク文化期	Okhotsk period (ca. 5th–9th century)
飛鳥時代	Asuka period (592–710)
擦文時代	Satsumon period (ca. 7th–13th century)
奈良時代	Nara period (710–794)
平安時代	Heian period (794–1185)
トビニタイ文化期	Tobinitai period (ca. 10th–13th century)
グスク時代	Gusuku period (ca. 10th–15th century)
アイヌ文化期	Ainu period (ca. 13th–19th century)
中世	Feudal Japan (ca. 12th–16th century)
鎌倉時代	Kamakura period (1185–1333)
南北朝時代	Nanbokuchō period (1333–1392)
室町時代	Muromachi period (1392–1573)
戦国時代	Warring States period (ca. 15th–16th century)
琉球王朝	Ryūkyū Kingdom (ca. 15th–19th century)
安土桃山時代	Azuchi-Momoyama period (1573–1603)
近世	Early modern Japan (ca. 16th–19th century)
江戸時代	Edo period (1603–1868)
近代	Modern Japan (ca. 19th century–1945)
明治期	Meiji era (1868–1912)
大正期	Taishō era (1912–1926)
昭和期	Shōwa era (1926–1989)
平成期	Heisei era (1989–2019)
令和期	Reiwa era (2019–)

Tokyo National Museum

縄文時代	Jōmon period (ca. 11,000 BCE–5th century BCE)
弥生時代	Yayoi period (ca. 5th century BCE–3rd century CE)
古墳時代	Kofun period (ca. 3rd century–7th century)
飛鳥時代	Asuka period (593–710)
奈良時代	Nara period (710–794)
平安時代	Heian period (794–1192)
鎌倉時代	Kamakura period (1192–1333)
南北朝時代	Nanbokuchō period (1333–1392)
室町時代	Muromachi period (1392–1573)
安土桃山時代	Azuchi-Momoyama period (1573–1603)
江戸時代	Edo period (1603–1868)
明治期	Meiji era (1868–1912)
大正期	Taishō era (1912–1926)
昭和期	Shōwa era (1926–1989)
平成期	Heisei era (1989–2019)
令和期	Reiwa era (2019–)

Kyoto National Museum

縄文時代	Jōmon period (pre-10,000 BCE–ca. 5th century BCE)
弥生時代	Yayoi period (ca. 5th century BCE–ca. 3rd century CE)
古墳時代	Kofun period (ca. 3rd century–6th century)
飛鳥時代	Asuka period (592–710)
奈良時代	Nara period (710–794)
平安時代	Heian period (794–1185)
鎌倉時代	Kamakura period (1185–1333)
南北朝時代	Nanbokuchō period (1333–1392)
室町時代	Muromachi period (1392–1573)
桃山時代	Momoyama period (1573–1615)
江戸時代	Edo period (1615–1868)
明治期	Meiji period (1868–1912)
大正期	Taishō period (1912–1926)
昭和期	Shōwa period (1926–1989)
平成期	Heisei period (1989–2019)
令和期	Reiwa period (2019–)

Nara National Museum

縄文時代	Jōmon period (pre-10,000–ca. 5th/3rd c. BCE)
弥生時代	Yayoi period (5th/3rd c. BCE–ca. 3rd c. CE)
古墳時代	Kofun period (ca. 3rd century–7th century)
飛鳥時代	Asuka period (592–710)
奈良時代	Nara period (710–794)
平安時代	Heian period (794–1185)
鎌倉時代	Kamakura period (1185–1333)
南北朝時代	Nanbokuchō period (1333–1392)
室町時代	Muromachi period (1392–1573)
安土桃山時代	Azuchi-Momoyama period (1573–1603)
江戸時代	Edo period (1603–1867)
明治期	Meiji era (1868–1912)
大正期	Taishō era (1912–1926)
昭和期	Shōwa era (1926–1989)
平成期	Heisei era (1989–2019)
令和期	Reiwa era (2019–)

英文スタイル・マニュアル：基礎編
Style Manual for English Texts: General Conventions

発行日　2022年2月25日
発行・編集　独立行政法人国立文化財機構
奈良文化財研究所

独立行政法人国立文化財機構　奈良文化財研究所〔編〕

National Institutes for Cultural Heritage
Nara National Research Institute for Cultural Properties